

図 1

化学物質の毒性と危険性

- ➡ 毒性と危険度は一致しない
- ➡ 危害(危険)の度合(リスク)は毒性と曝露によって決まる。(*)
- ➡ リスクの評定(リスクアセスメント)はリスクへの対応(リスクマネージメント)の前提

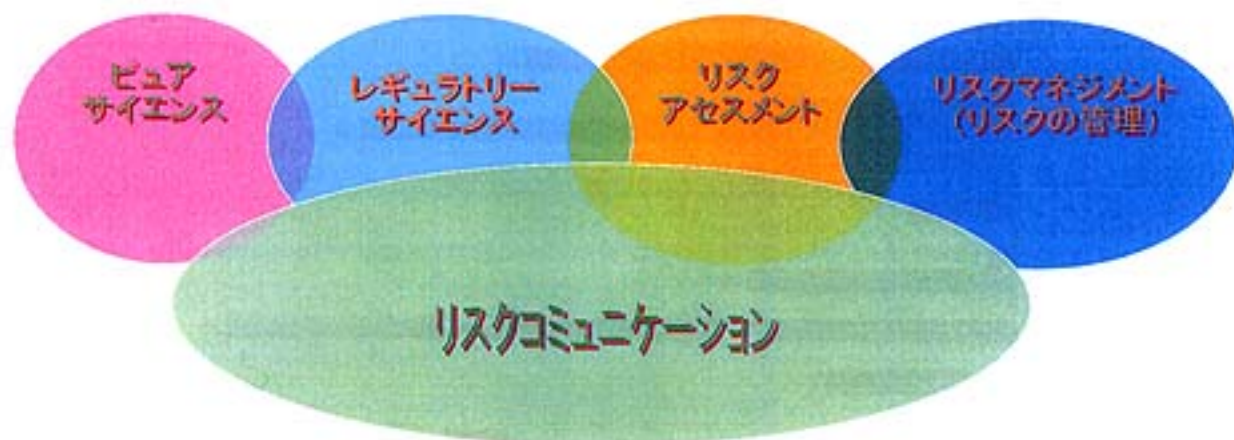
リスクの評定(リスクアセスメント)の手続き

- ① 有害性(毒性)の確認
- ② 用量反応アセスメント(ヒトへの外挿および用量相関性の決定)
- ③ 曝露アセスメント

リスク(危険の度合い)の判定

(*) すべての物質は毒である。毒でないものは何もない。
正しい投与量が毒と薬とを区別する。—パラケルスス(1493? —1541)

図 2



化学物質の総合管理におけるレギュラトリーサイエンスの位置付け